

福津市立上西郷小学校コミュニティ・スクールの取組

【概要】

- 上西郷小学校は平成22年からコミュニティ・スクール制度を導入し、今年度で6年目となります。
- 地域住民等と学校が双方向の信頼関係を深め、地域に信頼され、開かれた学校づくりを推進する。
 - 地域住民等の意向を的確に学校運営に反映させ、創意工夫しながら特色ある学校づくりを推進する。
 - 地域住民等と学校が相互にその教育力を高め、共働してより良い教育の実現に取り組む。
- ことを目標に、学校・家庭・地域の連携・協働を進めています。

【取組等】

<27年度CS推進の重点目標>

教職員の参画意識を高め、学校運営協議会の活性化と郷づくり推進協議会をはじめとする地域関係団体等との連携強化を図る

<重点目標達成のための方策>

①『共働学校運営協議会』の開催

- 7月5日、日曜参観終了後開催、運営協議会に学校運営協議会委員と全職員、PTA本部役員が参加し、児童の課題解決のための協議を行う

②上西郷地域郷づくり推進協議会(小学校区を中心とした住民自治組織絆づくり・人づくりが核、学校応援団的組織)と校務分掌との連携

- 担当校務分掌に基づいて各部会に教員を一人ずつ配置
 - ・部会会議に出席し、内容・日程・役割分担を確認・調整
 - ・職員会議、職朝等で、事業等について提案・運営

<本校CS導入期・推進にあたっての留意点>

1. **関係構築(顔の見える関係)が大事** →気持ちよく連携活動ができる関係が土台。
2. **組織ありきで進めない**→小規模校で、三者とも様々な役割を持っている。維持することが負担になる組織は長続きしない。
3. **もともとあった取組を有効活用する**→ふれあいまつり・敬老給食など、CSや郷づくりの導入。前からの連携事業を、組織に合わせ再構築する。
4. **全員で取り組む意識を高める**
5. **事業推進の効率化を図る**

【成果と課題】

- 相互信頼関係の下、目標が概ね達成できている。
- 相互協力(Win-Winの関係)のもと連携事業が実施され、年々取組が深化している。
- ワールドカフェによる関係者の関係強化と多様なプランの提示ができている。
- 職員の参画意識が高まるとともに、事業推進の効率化が図られている。
- 具体化できるプランの絞り込みとそれを具体化する動きや流れの確認ができていない。
- 学校運営協議会を核とした既存組織どうしの連携強化と、それぞれの役割の確認・分担を進める方策を検討する必要がある。

【お問い合わせ先】

福津市立上西郷小学校

〒811-3205 福岡県福津市内殿591番地の4

電話番号：0940-42-0258